



2018年度版



森の賢者 ふうた

日本代協は、今こんな活動をしています!!

損害保険の普及と
消費者・保険契約者の利益を守るために、
損害保険代理店及び募集人の
資質向上に努めています。

日本代協ホームページ

<http://www.nihondaikyo.or.jp/>

日本代協

検索



一般社団法人

日本損害保険代理業協会(日本代協)

代理店及び募集人の資質向上に向けた

教育・研修活動

損害保険大学課程 教育プログラムの運営

一般社団法人日本損害保険協会(損保協会)は、損保協会の「損害保険代理店専門試験」と日本代協の「日本代協保険大学校・認定保険代理士制度」を統合した「損害保険大学課程」を、2012年7月から実施しています。この制度の運営にあたり、日本代協は指定教育機関となり、教育プログラムの策定・運営を行なっています。

損害保険大学課程の「コンサルティングコース」は、「専門コース」で修得した損害保険に関する法律・税務等の知識を基に、より実践的な業務スキルを習得するコースで、お客さまに総合的なコンサルティングを実践できる募集人の育成を目指しています。修了・試験合格後には、「損害保険トータルプランナー」として認定されます。



「コンサルティングコース」セミナー



損害保険トータルプランナー認定授与式

太平洋保険学校(PIAS)の実施

業界唯一の横断的な海外研修制度であるPIASは、1979年以来、継続的に実施し、延べ732名が参加しています。米国の最新の保険情報、代理店の経営戦略や募集人の高いプロ意識、業務レベルを肌で感じる貴重な機会として、参加者から大変好評をいただいています。

2018年度第37次PIASは、CPCUサンフランシスコ支部を研修受け入れ先として、6月1日～8日の日程で開催予定。



第36次PIAS



代協会員向けセミナー

日本代協、各都道府県代協は、会員向けに「経営マネジメント」や「改正保険業法への対応」等、本業に資する様々なセミナーを開催しています。また、総会や賀詞交歓会等に保険会社等の業界関係者を招待し、交流を深めています。



大阪代協 パネルディスカッション
(2017年8月24日)



宮崎県代協 賀詞交歓会
(2018年1月24日)

日本代協コンベンション

日本代協は、「全国の代協会員が集い、語らう場」として、代協会員の手作りによるコンベンションを毎年2日間に亘り、開催しています。コンベンションでは、功労者表彰とあわせて、毎年テーマを定め、1日目に基調講演、2日目は基調講演に基づいた分科会を開催し、代協会員が自己研鑽に励んでいます。

2017年度のテーマは、「お客さまに必要とされる代理店を考える」でした。



式典(左)、懇親会(左下)、
分科会の様子(下)
(2017年11月2日、3日)



消費者・保険契約者の利益を守るための 調査・研究・及び提言活動



「活力ある代理店制度等研究会」を開催しています

保険代理業を「若く優秀な人材が生き生きと活躍することができる産業」とすることが、損害保険の普及と消費者・保険契約者の保護に一層貢献すると考え、時代にあった代理店制度のあり方について検討を行うため、日本代協の特別会員である保険会社4社と、2007年度に「活力ある代理店制度等研究会(活力研)」を立ち上げ、論議を続けています。

2017年度は、「代手体系の課題と今後の展望」代理店の乗合問題への対応「高齢募集人対応」をテーマに、年2回(7月と2月)識者の意見も踏まえながら論議を行いました。



活力ある代理店制度等研究会(2017年7月19日)

保険契約者等の利益保護に資する 募集の公平性の維持

日本代協は、リスク分析や商品提案力、商品説明力、事故発生時の対応等が優れた代理店が契約者に選ばれる環境にしていかなければ、消費者の利益保護にはつながらないと考え、募集の公平性を維持し、不公正な競争を排除する取り組みを進めています。

他の商品との抱き合わせ販売、不当な契約乗換え等、消費者が不利益を被っている事案がないか、継続的にモニタリングを実施し、法律等の制度やルールに及ぶ問題であれば、保険会社や行政に対して情報提供を行なっています。



日本代協 企画環境委員会



業界標準化に向けた提言活動

自由化の進展により、各社の独自性が発揮されることは消費者にとって好ましいことですが、逆に、消費者にとって共通化や標準化が望ましい領域まで、無用な競争を拡大させた場合には、商品やサービスの複雑化を招き、契約者の理解を妨げることにもなります。日本代協では、消費者の利便向上、業務効率化を目的に共通化・標準化すべき項目を損保協会に提言しています。

【共通化・標準化を提言する検討視点】

契約者にとっての分かりやすさ、利便性の向上(トラブル・不信の抑制)

保険会社のコスト削減(保険料引き上げ抑制)
代理店・募集人の業務効率化(消費者対応時間の創出)

2018年3月より、お客さまが専用モバイル端末にキャッシュカードを通し暗証番号を入力するだけで、口座登録ができるサービス「レジペイ」が開始されました。



代理店賠償「日本代協新プラン」を提供

日本代協は、保険契約者保護の観点から、資質向上、代理店経営品質向上に努める一方で、万が一、契約者にご迷惑をかけた場合(保険業法第283条による賠償事案)の賠償資力が確保できるよう、代理店賠償責任保険「日本代協新プラン」を代協会員に提供しています。

2018年3月末現在 10,334店の代協会員が加入しています。



損害保険の普及に関する 啓発・宣伝活動

学校教育への取り組み

日本代協及び代協会員は、地域に根差した「リスクアドバイザー」として、また、「保険実務の専門家」として、地域の子どもたち、学生に対する学校教育に取り組んでいます。

【小学生のぼうさい探検隊・マップコンクール】

「ぼうさい探検隊」とは、損保協会が実施する「子どもたちが楽しみながら、まちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備等を見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラム」です。日本代協では、損保協会と連携し、代協会員自らマップ作成指導や普及に取り組んでいます。

また、2014年度から、マップコンクールの表彰でキッズリスクアドバイザー賞(日本代協賞)を提供しています。

2017年度 代協会員が指導し応募した133団体・416作品のうち、3作品が防災担当大臣賞・まちのぼうさいキッズ賞・気象庁長官賞、11作品が佳作に見事入選



防災担当大臣賞
(三豊市仁尾町児童館 において
清掃探検隊：香川県代協)



気象庁長官賞
(亀崎学区少年消防クラブ
亀っ子防災探検隊：広島県代協)



まちのぼうさいキッズ賞
(富士見キッズ チーム4年：東京代協)



キッズリスクアドバイザー賞
学童ひまわりクラブ ひまっしー隊
(2018年1月27日)

【高校生の自動車リスクへの対応】

代協会員が講師となり、これから社会に出る高校3年生を中心に、自動車事故の具体事例や事故を起した場合の様々な賠償責任、自動車保険の補償内容やチェックポイント等の解説を学校授業の一つとして実施しています。



2017年度
4代協 16校 4,323名

岩手県代協
(2018年1月31日)

【大学での保険募集関係の講座】

損保協会が開講している「損害保険講座」の保険募集のパートを日本代協が担当し、日本代協役員や各代協の会長等が講義を受け持っています。また、講師のスキルアップ・均一化を図るため「プレゼンテーションスキルアップ研修」を実施し、講師(日本代協認定講師)の育成にも努めています。

2017年度
7名(通算31名)育成

埼玉県代協
埼玉大学
損害保険の販売実務
(2017年10月23日)



消費者団体との対話活動

日本代協、各都道府県代協は、各地域で消費者団体と定期的に懇談会を行い、消費者の声に耳を傾け、その声を会員で共有することで、代理店・募集人の資質向上を図っています。

あわせて、行政・損保協会・金融審議会等に消費者の声を伝え、より良い保険の仕組み、保険商品の提供に反映させることで、消費者の利益に貢献する活動をしています。

2017年度は11代協で計15回の懇談会を開催



石川県代協 (2017年12月1日)



地震保険の啓発・普及促進

日本代協は、新潟県中越地震が発生した10月を「地震保険の月」と定め、「地震保険の保険金は被災時の生活再建資金となり、生活の早期安定に資する」ことを毎年全国で訴えています。



北海道代協(2017年8月5日)



青森県代協(2017年11月22日)



大分県代協(2017年10月20日)

無保険車追放の取り組み

交通事故が起きた場合、被害者だけでなく、加害者にも賠償責任義務による金銭的負担や精神的負担が強いられます。日本代協では、交通事故被害者の対人賠償の確保と加害者の経済的負担を補う自賠責保険の普及を目的に「無保険車追放キャンペーン」を、毎年9月に国土交通省と共同で実施しています。



山梨県代協(2017年9月28日)



京都代協(2017年9月30日)

自動車等の盗難対策

日本代協は、2012年度より「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム(警察庁主管)」に参画し、盗難防止対策に取り組んでいます。また、10月7日「トーン(盗難)防止の日」に、損保協会が盗難多発地域で街頭啓発活動を行っており、該当地域の代協が協力しています。



茨城県代協(2017年10月6日)



愛知県代協(2017年10月6日)

お客さま向け情報誌「みなさまの保険情報」の発行

お客さまに常に新しい情報をお届けするためのツールとして、お客さま向けの情報誌「みなさまの保険情報」(年4回発行)を代協会員に斡旋し、現在約7万部が利用されています。



メディアを活用したPR

日本代協は、消費者の皆さまに損害保険代理店、損害保険トータルプランナー等の活動をご理解いただくため、メディアを活用したPRを行なっています。

2017年度は、YouTubeでコンセプトムービーとアニメーションを配信しました。

なお、現在ホームページ(リンク先の特設サイト)で番組を公開しています。



「繋がり」~離れていても繋がっている~(3分55秒)

<http://www.nihondaikyo.or.jp/news/pr2017.html>



アニメ「トータルプランナーのいる街」(4分14秒)

<https://www.youtube.com/watch?v=KwjLvpmANJY>

地域社会貢献活動

各種ボランティアや地域に密着した継続的な活動を通じて、地域社会への貢献に取り組んでいます。

2017年度は35代協で計125回の活動

また、消費者に関心の高いテーマを選び、全国各地で公開講座を開催しています。

2017年度は1支部・6代協・5ブロックで計12回の公開講座を開催し、1,728名が参加

交通安全



長野県代協
交通安全街頭活動
(2017年4月6日)

献血、AED講習会



栃木県代協
応急手当講習
(2017年9月26日)



千葉県代協
献血活動
(2017年10月29日)

社会貢献活動



福岡県代協
九州北部豪雨復旧ボランティア
(2017年11月18日)



長崎県代協
ユニバーサルマナー検定
(2017年11月7日)

公開講座



三重県代協
「ニュースの目～報道キャスターがみた日本～」
(2017年10月27日)

「子ども110番の保険代理店」の全国展開

日本代協と全国47都道府県代協は、助けを求めてきた子どもを保護し、学校・警察等へ連絡する地域ぐるみで子どもを守るボランティア活動を展開しています。

代協会員が警察・地域住民・学校関係者などと相互に連携し、地域のリスクアドバイザーとして、「子どもたちが安全に暮らせる環境づくり」をより一層、支えていきたいと考えています。



愛知県代協
子ども110番発足
(2018年3月2日)



沖縄県代協
子ども110番協定締結式
(2017年5月31日)



地球環境保全活動 (ボランティア・グリーン活動)

ボランティア・グリーン活動として自然保護団体が行う植林作業への参加や地域の海岸・河川、道路、公園等の清掃活動を行なっています。

2017年度は36代協・1ブロックで計76回、2,956名が参加

清掃活動



宮城県代協
七北田川河川敷清掃(2017年5月27日)



新潟県代協
関屋浜海岸清掃(2017年9月2日)



東京代協
高尾山清掃ハイク(2017年9月2日)



滋賀県代協
びわ湖外来魚駆除(2017年9月3日)



和歌山県代協
熊野古道道普請(2017年12月9日)



鳥取県代協
中海・宍道湖清掃(2017年6月11日)



広島県代協
広島駅前清掃(2017年12月16日)



高知県代協
仁淀川清掃(2017年6月3日)



鹿児島県代協
磯海水浴場清掃(2017年6月2日)

グリーン基金のご紹介

グリーン基金とは日本代協が行っている社会貢献のための寄付活動です。
毎年、日本代協会員会費の中から2%相当を基金に拠出しています。この基金から、植林等の自然保護活動のほか、地域社会貢献活動に実績のある団体に対して寄付を行なっています。

2017年度グリーン基金を25団体に寄付!!

公募団体について、審査・選考を行なった結果、25団体に合計195万円を寄付しました。

寄付先団体

10万円を寄付した14団体

奥入瀬川クリーン対策協議会	NPO法人 エコ葛城市民ネットワーク
NPO法人 白神ネイチャー協会	NPO法人 共生の森
NPO法人 庄内海岸のクロマツ林をたたえる会	公益財団法人 天神崎の自然を大切に作る会
盤洲干潟をまもる会	NPO法人 鷲羽山の景観を考える会
NPO法人 未来の荒川をつくる会	八代のツルを愛する会
NPO法人 町屋百人衆	NPO法人 唐津環境防災推進機構KANNE
NPO法人 世界の砂漠を緑で包む会	魅力ある乙津川にする会

5万円を寄付した11団体

中田地区記念物保存会	コウノトリ湿地ネット
NPO法人 環白山保護利用管理協会	NPO法人 グリーンラインを愛する会
NPO法人 未来守りネットワーク	神角寺溪谷緑化推進会
島根自然保護協会	仁淀川流域山林保全育成の会
NPO法人 北広島ボランティア・メイプル	NPO法人 エゾシカネット
NPO法人 山の自然学クラブ	

寄付金贈呈式の様子



奈良県代協
NPO法人
エコ葛城市民ネットワーク
(2018年3月20日)



岡山県代協
NPO法人
鷲羽山の景観を考える会
(2018年3月13日)

概要

設立

昭和23年設立、昭和39年大蔵省より社団法人の認可取得、平成25年内閣総理大臣の認可を得て一般社団法人へ移行

目的

都道府県損害保険代理業協会を会員とする団体で、次を目的としています。

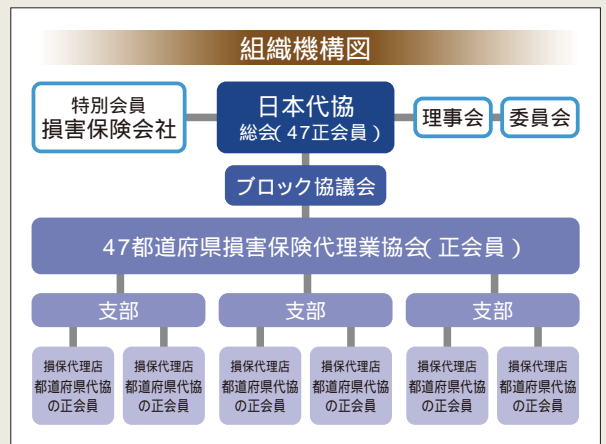
- ・損害保険の普及と保険契約者及び一般消費者の利益保護
- ・損害保険代理店の資質向上
- ・損害保険事業の健全な発展への寄与
- ・幅広く社会に貢献するための活動

組織

本部と47都道府県損害保険代理業協会から構成されています。

代協会員(代理店)数

12,267店(2018年3月末現在)



一般社団法人

日本損害保険代理業協会

〒100-0006

東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル321区

TEL: 03-3201-2745 FAX: 03-3201-4639

URL: <http://www.nihondaikyo.or.jp/>

